

外来生物ウチダザリガニを釣って食べてみよう！

9月10日（土）12名のこどもレンジャーが今年度2回目のイベントに参加しました！

**外来生物（がいらいせいぶつ）って
なんだろう？**

・もともと いなかったところに **人間によって**
もちこまれた いきもの。



ウチダザリガニ



アメリカミンク



オオハンゴンソウ

もともと すんでいた

ウチダザリガニとニホンザリガニ



ウチダザリガニ



ニホンザリガニ

	なまえ	大きさ（大人）	たまごの かず
	ウチダ ザリガニ	10cm くらい	100～800コ
	ニホン ザリガニ	5cm くらい	30～60コ

ウチダザリガニは **すごい いきおいで ふえる！**

**きょうは ウチダザリガニを みんなで つって
もともとの 釧路湿原を とりもどそう！**

…でも… わるいのは ウチダザリガニ…？



最初に、パワーポイントで外来生物のウチダザリガニについて学びます。

外来生物とは、もともとはいなかった地域に、人間の活動によって持ち込まれた生き物のことです。家で飼ったり、誰かにあげたりしてはいけません。ウチダザリガニのほか、アメリカミンクや、オオハンゴンソウなども外来生物です。

外来生物のウチダザリガニと、在来のニホンザリガニでは大きさなど全く異なります。ウチダザリガニは、もともと棲んでいた生き物を食べてしまい、もともとあった餌を食べてしまい、すみかを奪ってしまいます。最終的にはウチダザリガニばかりになってしまうかも…。

悪影響を及ぼしてしまうウチダザリガニ。では、ウチダザリガニが悪いのでしょうか…。みんなで考えてみました。



ウチダザリガニは悪くありません。悪いのは、ウチダザリガニを意図的に運んできてしまった人なのです。ですが、ウチダザリガニがいることで釧路湿原に悪影響を及ぼしてしまうので、釣って少しでももとの釧路湿原に戻しましょう！

温根内ビジターセンターからすぐ近く、右岸堤防の河川まで歩き、いよいよ釣りの始まりです。今回餌に使うのはスルメ！大きめに割いたスルメを竿の先の針金で固定します。



さあ、釣りスタート！

ザリガニ釣りは我慢が重要です。ザリガニが寄ってきてもすぐに釣り上げないで、餌を挟んだら少し竿を持ち上げ、最後は網ですくい上げます。

待ちきれず、竿を何度も投げてしまう子も…。気持ち分かります。



次々釣れてきました！ハサミに挟まれないよう気を付けながら観察してみましょう。雄雌どっちかわかるかな？

背ワタの取り方も教えてもらい、みんな上手に取っていましたね。

小さな魚やエビも見つけて、釣りの合間に観察。釧路湿原の生き物を身近に感じられました💡





待ちに待った試食の時間！茹で上がったザリガニを好きなだけ食べてもらいました！エビとカニの間のような味わい…？！おかわりしてくれる人もいて嬉しかったです♪

今回は温根内ビジターセンター付近の河川でウチダザリガニを釣って食べるイベントでした！

ウチダザリガニは外来生物なので、在来の自然環境や野生生物に悪影響を及ぼしてしまいます。釣って観察することで身近に感じてもらいつつ、もともとの釧路湿原には存在しなかった生物として美味しく食べて皆さんに学んでいただけたと思います🌟

みんなの記憶に残るイベントになっていたら嬉しいです。

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！！

